

岡崎市議会議長 様

支出番号	1
------	---

会派名
代表者名

自民清風会
磯部 亮次

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和7年4月23日提出

活動年月日	令和7年4月21日（月）～22日（火）		
氏名	野本 篤		
用務先 及び 内 容	1 4月21日	用務先	全国市町村国際文化研修所（大津市）
		内 容	令和7年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー
	2 4月22日	用務先	全国市町村国際文化研修所（大津市）
		内 容	令和7年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー
	3 月 日	用務先	
		内 容	
	4 月 日	用務先	
		内 容	
備 考			

政務活動旅行報告書

作成者：野本 篤

【視察概要】

研修名：令和7年度 第1回 市町村長等・議会議員特別セミナー

日時：令和7年4月21日～22日

研修場所：全国市町村国際文化研修所



【講座概要】

- ① 偽・誤情報問題 その現状と求められる対策
講 師 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
准教授 山口真一 氏
- ② 持続可能な地方行財政のあり方
講 師 総務省総務審議官 原 邦彰 氏
- ③ おにぎりから世界へ
講 師 一般社団法人おにぎり協会 代表理事 中村祐介 氏

④ 地域の歴史・文化資源を生かしたまちづくり
～しあわせ実感都市瀬戸内市の取り組み～
講 師 岡山県 瀬戸内市長 武久顕也 氏

【考 察】

人類総メディア時代となり情報発信による効果や影響、AI の進化によるフェイク情報の脅威も感じる所である。改めて思うのは技術を使う人間側が責任ある行動をするしかない。これからのデジタル社会を正しく生き抜けるように、子ども達へのデジタル・シティズンシップ教育が必要だと再確認することとなった。

人口が減少を何とかしないといけなく考えるのはもう無理があるということ。逆にこれから人口が減少することを前提に考えることが重要であるが、悲観するのではなく、新たな技術を取り入れて、いかに社会を回していくのか？そして、供給力を維持していくためにどうしていくのか？を検討していけないといけない。

時代の流れとともに多様化する市民ニーズや今までとは違う社会課題に対して、国や地方による分権を基本にして、それぞれの役割を見直す時ではないかと考えさせられるものであった。

おにぎり協会の取り組み事例をご紹介いただいた。企業や自治体が強みを活かしておにぎりという誰もが知るものを通じて PR につなげていくプラットフォームであると考えられる。強みや魅せるものに乏しい自治体にとってはありがたい取り組みだと感じる。

岡崎にもおにぎりに合う特産品が多くあることから広がりや可能性を感じている。

瀬戸内市の市長さんの取り組み事例の紹介であった。自治体規模等の違いはあるけれど、限りのある財源の中でいかに税外収入を増やすことが大切なこと。取り組みを進めるなかで正当性をしっかりと見出し共有することが合意形成を得るために大切であるという強い姿勢に感心するとともに、財政厳しい本市にとっても必要な姿勢であると感じた。